

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月31日

上場会社名 ヤマハ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7951 URL <http://www.yamaha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 梅村 充

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長

(氏名) 梅田 史生

TEL 053-460-2141

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-------|-------|-------|-------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第1四半期 | 99,428 | △19.3 | 236 | △95.8 | △497 | — | △2,899 | — |
| 21年3月期第1四半期 | 123,279 | — | 5,623 | — | 5,710 | — | 1,062 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第1四半期 | △14.70 | — |
| 21年3月期第1四半期 | 5.26 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|---------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第1四半期 | 409,879 | 254,948 | 61.5 | 1,278.48 |
| 21年3月期 | 408,974 | 251,841 | 60.9 | 1,262.42 |

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 252,161百万円 21年3月期 248,995百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 27.50 | — | 15.00 | 42.50 |
| 22年3月期 | — | — | — | — | — |
| 22年3月期(予想) | — | 15.00 | — | 15.00 | 30.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

21年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当17円50銭 特別配当10円00銭

21年3月期期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 特別配当10円00銭

22年3月期(予想)第2四半期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 特別配当10円00銭

22年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 5円00銭 特別配当10円00銭

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期連結累計期間 | 212,500 | △15.2 | 1,300 | △90.2 | △200 | — | △1,900 | — | △9.63 |
| 通期 | 439,000 | △4.4 | 6,000 | △56.7 | 3,000 | △75.0 | 0 | — | 0.00 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

先行きが不透明なため、当第1四半期においては、連結業績予想の見直しを行わず、据え置きます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、7ページ「【定性的情報・財務諸表等】4. その他」をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、7ページ「【定性的情報・財務諸表等】4. その他」をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 197,255,025株 21年3月期 197,255,025株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 19,179株 21年3月期 17,461株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 197,236,587株 21年3月期第1四半期 202,139,877株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1ページの連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、連結業績予想に関する事項は、6ページ「【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社及び連結子会社を取り巻く経済環境は、金融危機に端を発する世界的な景気後退により、依然として深刻な状況が続きました。景況感の一部に改善の兆しが見られたものの、企業業績及び雇用環境は厳しく、個人消費は一段と冷え込みました。

このような状況の中で当社グループは、世界的な需要の落ち込みに対応するため、2008年11月に「経営改革委員会」を設置し、経費の見直し、投資・イベントの絞込み等、業績改善への緊急対策を実行しております。また、徹底的な事業レビューを進める一方、将来に繋がる高付加価値商品の開発や成長事業領域への投資を選別し、中長期的な観点からの対応も同時に進めております。

当第1四半期連結累計期間の販売の状況につきましては、前年同期に比べ238億51百万円（19.3%）減少し、994億28百万円となりました。全てのセグメントにおいて売上げが減少したことに加え、為替影響による減収約80億円もあり、前年同期に比べて大幅な減収となりました。

当第1四半期連結累計期間の損益につきましては、営業利益は前年同期に比べ53億87百万円（95.8%）減少し、2億36百万円となりました。税金等調整前四半期純損失は5億82百万円（前年同期は、税金等調整前四半期純利益54億94百万円）、四半期純損失は、28億99百万円（前年同期は、四半期純利益10億62百万円）となりました。

(1) 事業の種類別セグメントの業績

(楽器事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ128億29百万円（15.8%）減少し、683億72百万円となりました。減収要因には、為替による影響が約63億円含まれており、その影響を除いた実質ベースの売上高は、前年同期に比べ約65億円の減収となりました。

商品別には、ピアノは、中国市場では堅調に推移しましたが、欧州市場において、前年同期に比べ大幅な売上げ減少となりました。電子楽器は、国内市場及び欧州市場で大幅な減収となりました。音響機器は、北米市場及び欧州市場で減収となりました。管楽器は、国内市場を中心に減収となりました。

営業利益は、前年同期に比べ44億5百万円（71.0%）減少し、18億3百万円となりました。

(AV・IT事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ26億28百万円（19.0%）減少し、112億17百万円となりました。減収要因には、為替による影響が約16億円含まれており、その影響を除いた実質ベースの売上高は、前年同期に比べ約10億円の減収となりました。

商品別には、オーディオは、フロント・サラウンド・システム商品が国内市場で堅調に推移しましたが、北米市場を中心に減収となりました。また、業務用ルーターやカラオケ機器は、振るいませんでした。

営業損失は、4億67百万円（前年同期は、営業損失5億19百万円）となりました。

(電子部品事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ27億96百万円(37.5%)減少し、46億70百万円となりました。

商品別には、携帯電話用音源LSIが需要の減少により減収となりました。

営業損失は5億39百万円(前年同期は、営業損失1億70百万円)となりました。

(リビング事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ16億54百万円(15.8%)減少し、88億9百万円となりました。新築住宅着工数の大幅な減少を受け、システムキッチン、システムバスが減収となりました。

営業損失は、5億14百万円(前年同期は、営業損失5億73百万円)となりました。

(その他の事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ39億43百万円(38.3%)減少し、63億58百万円となりました。

商品別には、自動車用内装部品が減収となりました。また、当連結会計年度中の撤退を決定しているマグネシウム成形部品も減収となりました。

営業損失は、45百万円(前年同期は、営業利益6億78百万円)となりました。

(2) 所在地別セグメントの業績

当第1四半期連結累計期間において、日本は、売上高575億30百万円(前年同期比17.5%減少)、営業損失23億7百万円(前年同期は、営業利益35億46百万円)となりました。北米は、売上高137億48百万円(前年同期比17.3%減少)、営業利益5億45百万円(前年同期比6.7%減少)となりました。欧州は、売上高149億97百万円(前年同期比29.0%減少)、営業利益3億46百万円(前年同期比60.4%減少)となりました。アジア・オセアニア・その他の地域は、売上高131億52百万円(前年同期比16.7%減少)、営業利益15億19百万円(前年同期比44.9%減少)となりました。

(3) 地域別売上高の状況

当第1四半期連結累計期間における海外売上高比率は、前年同期に比べ1.9ポイント減少し、44.3%となりました。

(日本)

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ108億99百万円(16.4%)減少し、553億92百万円となりました。主に半導体、リビング、マグネシウム成形部品、自動車用内装部品、管楽器等が減収となったことによります。

(北米)

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ27億12百万円(16.3%)減少し、138億94百万円となりました。市況の悪化により音響機器及びオーディオ等の売上げが減少しました。為替影響を除いた実質ベースでの売上高は、前年同期に比べ約14億円の減少となりました。

(欧州)

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ66億83百万円(31.1%)減少し、148億11百万円となりました。市況の悪化によりピアノ、電子楽器、音響機器等の売上げが減少しました。為替影響を除いた実質ベースでの売上高は、前年同期に比べ約28億円の減少となりました。

(アジア・オセアニア・その他の地域)

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ35億55百万円(18.8%)減少し、153億29百万円となりました。中国はピアノを中心に堅調に推移しましたが、他の地域では、ピアノ、電子楽器等での売上げが減少しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産

総資産は、前連結会計年度末から9億4百万円(0.2%)増加し、4,098億79百万円となりました。

このうち、流動資産は、45億16百万円(2.2%)減少し、1,975億80百万円となりました。また、固定資産は、54億21百万円(2.6%)増加し、2,122億98百万円となりました。

(2) 負債

負債は、前連結会計年度末から22億2百万円(1.4%)減少し、1,549億30百万円となりました。

このうち、流動負債は、主として未払金及び未払費用の減少により、64億17百万円(7.1%)減少し、836億32百万円となりました。また、固定負債は、主として長期借入金と退職給付引当金の増加により、42億14百万円(6.3%)増加し、712億98百万円となりました。

(3) 純資産

純資産は、前連結会計年度末から31億7百万円(1.2%)増加し、2,549億48百万円となりました。前連結会計年度末に比べて時価のあるその他有価証券の時価が上昇したことに伴い、評価・換算差額等が増加したこと等によります。

(4) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間において現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、63億86百万円減少(前年同期は385億69百万円減少)し、期末残高は361億46百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は、10億32百万円(前年同期使用した資金は164億87百万円)となりました。法人税等の支払額が減少したこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、有形固定資産の取得等により、34億99百万円（前年同期使用した資金は19億38百万円）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、24億38百万円（前年同期は自己株式の取得等により、使用した資金は222億62百万円）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想は、平成21年4月30日に公表しておりますが、先行きが不透明なため、当第1四半期においては、見直しを行わず、据え置きます。

当資料の記載内容のうち、将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測には、リスクや不確定な要素などが含まれており、実際の成果や業績などは、記載の見通しとは異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、収益性の低下が明らかな棚卸資産についてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 原価差異の配賦方法

予定価格等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に主要製品別を実施する方法によっております。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年12月27日 企業会計基準第15号)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年12月27日 企業会計基準適用指針第18号)が当第1四半期連結会計期間から適用されたことに伴い、当第1四半期連結会計期間に着手した工事から、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、当該変更が当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

② 当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針」(企業会計基準委員会 平成20年5月13日 企業会計基準適用指針第22号)を適用しております。

なお、当該変更が当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 36,470 | 41,373 |
| 受取手形及び売掛金 | 54,030 | 51,938 |
| 有価証券 | 999 | 1,280 |
| 商品及び製品 | 59,991 | 56,580 |
| 仕掛品 | 13,847 | 13,526 |
| 原材料及び貯蔵品 | 10,490 | 10,588 |
| その他 | 23,269 | 28,213 |
| 貸倒引当金 | △1,518 | △1,401 |
| 流動資産合計 | 197,580 | 202,097 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 38,815 | 38,885 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 12,800 | 13,271 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 9,796 | 9,925 |
| 土地 | 57,076 | 56,690 |
| リース資産(純額) | 514 | 521 |
| 建設仮勘定 | 8,143 | 8,318 |
| 有形固定資産合計 | 127,146 | 127,613 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 3,733 | 3,596 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 65,952 | 57,131 |
| その他 | 16,639 | 19,690 |
| 貸倒引当金 | △1,173 | △1,155 |
| 投資その他の資産合計 | 81,418 | 75,667 |
| 固定資産合計 | 212,298 | 206,876 |
| 資産合計 | 409,879 | 408,974 |

(単位：百万円)

| | 当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 25,831 | 25,625 |
| 短期借入金 | 12,020 | 14,216 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,395 | 1,483 |
| 未払金及び未払費用 | 28,417 | 34,012 |
| 未払法人税等 | 1,939 | 2,090 |
| 引当金 | 6,632 | 6,701 |
| その他 | 7,395 | 5,919 |
| 流動負債合計 | 83,632 | 90,050 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 6,182 | 3,491 |
| 退職給付引当金 | 29,630 | 27,628 |
| その他 | 35,485 | 35,963 |
| 固定負債合計 | 71,298 | 67,083 |
| 負債合計 | 154,930 | 157,133 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 28,534 | 28,534 |
| 資本剰余金 | 40,054 | 40,054 |
| 利益剰余金 | 171,591 | 176,739 |
| 自己株式 | △31 | △29 |
| 株主資本合計 | 240,149 | 245,298 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 26,291 | 19,817 |
| 繰延ヘッジ損益 | △313 | △394 |
| 土地再評価差額金 | 18,769 | 18,769 |
| 為替換算調整勘定 | △32,734 | △34,495 |
| 評価・換算差額等合計 | 12,012 | 3,697 |
| 少数株主持分 | 2,786 | 2,845 |
| 純資産合計 | 254,948 | 251,841 |
| 負債純資産合計 | 409,879 | 408,974 |

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 売上高 | 123,279 | 99,428 |
| 売上原価 | 77,395 | 64,758 |
| 売上総利益 | 45,883 | 34,670 |
| 販売費及び一般管理費 | 40,260 | 34,434 |
| 営業利益 | 5,623 | 236 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 300 | 71 |
| 受取配当金 | 546 | 334 |
| その他 | 533 | 182 |
| 営業外収益合計 | 1,381 | 588 |
| 営業外費用 | | |
| 売上割引 | 874 | 646 |
| その他 | 419 | 676 |
| 営業外費用合計 | 1,293 | 1,322 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 5,710 | △497 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 28 | 10 |
| 貸倒引当金戻入額 | 32 | — |
| その他 | 5 | 0 |
| 特別利益合計 | 65 | 10 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 148 | 60 |
| 投資有価証券評価損 | — | 34 |
| 特別退職金 | 94 | — |
| その他 | 38 | — |
| 特別損失合計 | 281 | 95 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 5,494 | △582 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,094 | 709 |
| 法人税等調整額 | 3,254 | 1,512 |
| 法人税等合計 | 4,348 | 2,222 |
| 少数株主利益 | 83 | 95 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 1,062 | △2,899 |

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 5,494 | △582 |
| 減価償却費 | 4,341 | 3,331 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △786 | △1,582 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △5,187 | 44 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 614 | △238 |
| 法人税等の支払額 | △13,554 | △667 |
| その他 | △7,409 | △1,336 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △16,487 | △1,032 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,377 | △4,148 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 148 | 112 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △8 | — |
| 投資有価証券の売却及び償還による収入 | 3,000 | 5 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △460 | — |
| その他 | △240 | 530 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,938 | △3,499 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 1,973 | △1,901 |
| 長期借入れによる収入 | 88 | 2,823 |
| 長期借入金の返済による支出 | △770 | △108 |
| 自己株式の取得による支出 | △18,003 | △1 |
| 配当金の支払額 | △5,157 | △2,958 |
| その他 | △393 | △291 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △22,262 | △2,438 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,120 | 584 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △38,569 | △6,386 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 103,371 | 41,223 |
| 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | 947 | 1,308 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | △129 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 65,620 | 36,146 |

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

| | 楽器 (百万円) | AV・ IT (百万円) | 電子部品 (百万円) | リビング (百万円) | その他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去 又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------------|-------------|--------------------|---------------|---------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 81,202 | 13,845 | 7,466 | 10,464 | 10,301 | 123,279 | | 123,279 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | | | 241 | | | 241 | △241 | |
| 計 | 81,202 | 13,845 | 7,708 | 10,464 | 10,301 | 123,521 | △241 | 123,279 |
| 営業利益又は 営業損失(△) | 6,208 | △519 | △170 | △573 | 678 | 5,623 | | 5,623 |

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

| | 楽器 (百万円) | AV・ IT (百万円) | 電子部品 (百万円) | リビング (百万円) | その他 (百万円) | 計 (百万円) | 消去 又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|-----------------------|-------------|--------------------|---------------|---------------|--------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 68,372 | 11,217 | 4,670 | 8,809 | 6,358 | 99,428 | | 99,428 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | | | 189 | | | 189 | △189 | |
| 計 | 68,372 | 11,217 | 4,859 | 8,809 | 6,358 | 99,617 | △189 | 99,428 |
| 営業利益又は 営業損失(△) | 1,803 | △467 | △539 | △514 | △45 | 236 | | 236 |

- (注) 1 事業区分の方法

製品の種類・性質、販売市場等の類似性を考慮して、楽器事業、AV・IT事業、電子部品事業、リビング事業及びその他の事業に区分しております。

- 2 各事業区分の主要製品

| 事業区分 | 主要製品 |
|-------|---|
| 楽器 | ピアノ、電子楽器、管・弦・打楽器、教育楽器、音響機器、防音室、音楽教室、英語教室、音楽ソフト、調律 |
| AV・IT | オーディオ、情報通信機器 |
| 電子部品 | 半導体 |
| リビング | システムキッチン、システムバス、洗面化粧台 |
| その他 | ゴルフ用品、自動車用内装部品、FA機器、金型・部品、宿泊施設・スポーツ施設の経営 |

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | 欧州 (百万円) | アジア・オセアニア・ その他の 地域 (百万円) | 計 (百万円) | 消去 又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-------------|-------------|-------------|-----------------------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 69,765 | 16,615 | 21,116 | 15,781 | 123,279 | | 123,279 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 38,280 | 408 | 315 | 17,610 | 56,614 | △56,614 | |
| 計 | 108,045 | 17,024 | 21,431 | 33,392 | 179,894 | △56,614 | 123,279 |
| 営業利益 | 3,546 | 584 | 875 | 2,760 | 7,766 | △2,143 | 5,623 |

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

| | 日本 (百万円) | 北米 (百万円) | 欧州 (百万円) | アジア・オセアニア・ その他の 地域 (百万円) | 計 (百万円) | 消去 又は全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|---------------------------|-------------|-------------|-------------|-----------------------------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する 売上高 | 57,530 | 13,748 | 14,997 | 13,152 | 99,428 | | 99,428 |
| (2) セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 27,213 | 292 | 308 | 13,219 | 41,034 | △41,034 | |
| 計 | 84,743 | 14,041 | 15,306 | 26,372 | 140,463 | △41,034 | 99,428 |
| 営業利益又は 営業損失(△) | △2,307 | 545 | 346 | 1,519 | 104 | 131 | 236 |

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

北米……………アメリカ、カナダ

欧州……………ドイツ、フランス、イギリス

アジア・オセアニア・その他の地域……………中国、韓国、オーストラリア

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

| | 北米 | 欧州 | アジア・オセアニア・その他の地域 | 計 |
|--------------------------|--------|--------|------------------|---------|
| I 海外売上高(百万円) | 16,607 | 21,494 | 18,885 | 56,987 |
| II 連結売上高(百万円) | | | | 123,279 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 13.5 | 17.4 | 15.3 | 46.2 |

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

| | 北米 | 欧州 | アジア・オセアニア・その他の地域 | 計 |
|--------------------------|--------|--------|------------------|--------|
| I 海外売上高(百万円) | 13,894 | 14,811 | 15,329 | 44,036 |
| II 連結売上高(百万円) | | | | 99,428 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%) | 14.0 | 14.9 | 15.4 | 44.3 |

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

北米……………アメリカ、カナダ

欧州……………ドイツ、フランス、イギリス

アジア・オセアニア・その他の地域……………中国、韓国、オーストラリア

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。